

## 「学校づくりリーダーのためのアクティブラーナーズサミット 2018」のご案内

東京大学 大学総合教育研究センター  
日本教育研究イノベーションセンター

東京大学 大学総合教育研究センター教育課程・方法開発部門と一般財団法人日本教育研究イノベーションセンター（JCERI/河合塾グループ）は、2015年4月に始動した「高等学校におけるアクティブラーニング型授業を推進するための高大連携プロジェクト」の一環として、昨年、一昨年につづき「アクティブラーナーズサミット 2018」を開催いたします。

2017年7~9月にかけて実施した「高等学校における参加型学習に関する実態調査 2017」の分析結果を報告するほか、教育委員会の指導主事、教育センターの研修のご担当者、これからの学校づくりを担う高等学校の管理職・カリキュラム・マネジメント担当者・教務主任の先生方を対象に、アクティブラーニングやカリキュラム・マネジメントに関するテーマ別のワークショップを企画しております。

本年度のプログラムは2015年度より三年間にわたって進めてまいりました全国調査・個別調査を総括する内容となっております。日々学校づくりに向き合っている先生方、そうした試みを支えている教育委員会の指導主事及び教育センターの研修ご担当者とともにこれからの学校づくりを構想できれば幸いです。奮ってご参加ください。

### 記

【名称】 学校づくりリーダーのためのアクティブラーナーズサミット 2018

【日時】 2018年3月21日(水) 12:30~18:00 (開場は 12:00~)

【場所】 東京大学 伊藤国際学術研究センター

【対象】 教育委員会の指導主事、教育センターの研修ご担当者、高等学校の管理職・カリキュラム・マネジメント担当者・教務主任など

【定員】 350名

※申込者多数で定員を超過した場合は、上記対象者の方を優先してご案内いたします。

【参加費】 無料

【お申し込み】 下記サイトで2017年12月4日(月)から受付開始する予定です。

<http://jceri.kawaijuku.jp/summit/>

【主催】 東京大学 大学総合教育研究センター  
日本教育研究イノベーションセンター

【協力】 学校法人河合塾

【イベントに関する問い合わせ先】

日本教育研究イノベーションセンター  
メール：jceri-fd@kawai-juku.ac.jp

TEL： 03-6811-5569 (受付時間:10:00~17:00 土日祝・年末年始を除く)

【実施概要】 \*内容は予定です。変更となる可能性もございます。

第1部 オープニング・全国調査報告 (12:30-13:45)

〈挨拶〉 日本教育研究イノベーションセンター理事／河合塾理事 信實秀則

〈オープニング〉

「アクティブラーナーを育てる学校づくりに向けて」

東京大学 大学総合教育研究センター 准教授 中原淳

〈全国調査報告〉

「全国調査からみるアクティブラーニング 三年間総まとめ！」

日本教育研究イノベーションセンター 特任研究員 木村充

東京大学 大学総合教育研究センター 特任研究員 村松灯

東京大学 大学総合教育研究センター 特任研究員 裴麗螢

第2部 シンポジウム (14:00-15:00)

「データから考える人づくり：

勘と経験と気合い (3K) にたよらないカリキュラム・マネジメント」

東京大学 大学総合教育研究センター 准教授 中原淳

桐蔭学園中学高等学校 教諭 登本洋子

第3部 テーマ別分科会 (15:15-17:15)

テーマ	内容	講師
分科会① コロキウム (対話型シンポジウム) 実践事例から考えるカリキュラム・マネジメント「最初の一步」	高大接続教育改革・新課程の議論の中でカリキュラム・マネジメントの重要性が強調されていますが、未だ抽象な概念にとどまっており、その内実の具体化が焦眉の課題となっています。そうした中で、大分県立大分豊府高等学校では、具体的に先進的な実践を推し進めてきました。同校の事例をもとに、学校の育成目標の形成、教科横断のカリキュラム編成、それらを支えたマネジメント手法、評価に関する課題などについて、ご参加の先生方とともに具体的な進め方のヒントを探っていきます。	河合塾 開発研究職 成田秀夫 大分県立大分豊府高等学校 教頭 佐藤茂
分科会② 「教科を超えるマナビの挑戦！：教科横断カリキュラムの可能性」	近年のアクティブラーニングの試みのなかで、教科横断的な学びの重要性はよりいっそう高まっています。学習者の主体的な学びは既存の教科の枠組みにとどまるものではないことは多くの先生方が実感されていることではないでしょうか。本ワークショップでは、カリキュラム・イノベーションの今日的意義について小玉重夫教授より基調報告をいただいたうえで、大畑方人先生、佐々木宏先生のご実践をてがかりに教科の枠組みをこえた自由で主体的な学びを生み出すためのヒントを探ります。	東京大学 大学総合教育研究センター 特任研究員 田中智輝・村松灯 東京大学 教育学研究科 教授 小玉重夫 東京都立高島高等学校 教諭 大畑方人 東京都立日野台高等学校 教諭 佐々木宏
分科会③ 「教師のマナビを支援する！：マナビを紡ぐチームをつくるリフレクション」	アクティブラーニングやカリキュラム・マネジメントの推進などにより、今教師は教科内容についてだけでなく、学習を促進する手法や学習目標の設定と見直しの仕方、生徒たちの卒業後のキャリアへの意識の高め方など、より幅広い知識やスキルを習得することが求められています。しかし、そのすべてについて校外で／勤務時間外に学ぶことは難しいため、教師の学びを学校内で促せる環境をつくるのが極めて重要です。本ワークショップでは、とりわけ経験学習の肝となる「リフレクション」を促し合いながら、学びを紡ぐチームをつくるための方法をご提案します。	都留文科大学 専任講師 山辺恵理子
分科会④ 「ケースメソッドで踏み出す学校づくりの第一歩！：経験を問い直す、関係を編み直す」	特色ある学校づくりやカリキュラム・マネジメントなどが求められる現代の学校においては、組織をまとめ、方向性を示し、新たな一歩を踏み出す力が要求されます。本ワークショップでは、リアルな事例における意思決定を疑似体験すること（ケースメソッド）を通じて、スクールリーダーやミドルリーダーにとっての、新たなマナビのあり方を提案します。	東京大学 大学総合教育研究センター 特任研究員 町支大祐・渡邊優子 河合塾講師 竹内幸哉 河合塾教育研究部 赤塚和繁

※ご参加頂くワークショップは申込状況によってご希望に添えない場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

第4部 クロージング (17:30-18:00)

「IR で高校が変わる！学校づくりの未来構想」

日本教育研究イノベーションセンター 高井靖雄

東京大学 大学総合教育研究センター 准教授 中原淳

以上